

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成19年1月25日(2007.1.25)

【公開番号】特開2000-226369(P2000-226369A)

【公開日】平成12年8月15日(2000.8.15)

【出願番号】特願平11-353043

【国際特許分類】

C 07 D 211/46	(2006.01)
C 07 D 211/58	(2006.01)
C 07 D 401/14	(2006.01)
C 07 D 405/14	(2006.01)
C 08 K 5/3435	(2006.01)
C 08 L 101/02	(2006.01)

【F I】

C 07 D 211/46
C 07 D 211/58
C 07 D 401/14
C 07 D 405/14
C 08 K 5/3435
C 08 L 101/02

【手続補正書】

【提出日】平成18年12月1日(2006.12.1)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

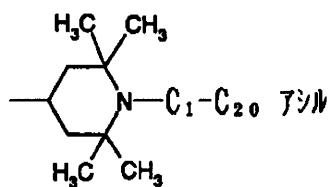
次式(A-1-a)および/または(A-1-b)

【化1】



で表される基を5ないし85%、ならびに次式(A-2)

【化2】



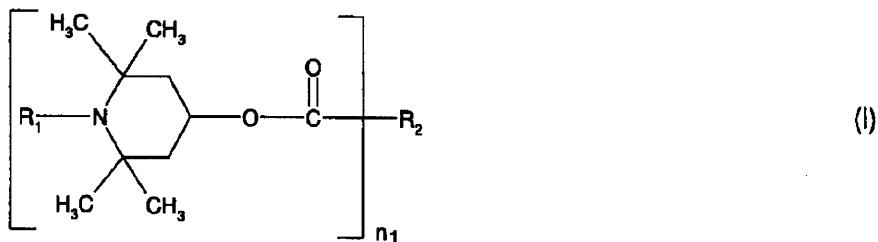
で表される基を 1 5 ないし 9 5 % 含み、該基 ( A - 1 - a ) 、 ( A - 1 - b ) および ( A - 2 ) の総計が 1 0 0 % となる生成物。

**【請求項 2】**

下記 a ) に定義される式 ( I ) 、下記 b ) に定義される式 ( I I ) 、下記 c ) に定義される式 ( V ) 、下記 d ) に定義される式 ( V I ) 、下記 e ) に定義される式 ( V I I ) 、下記 f ) に定義される反応生成物に相当するか、あるいは下記 g ) に定義される式 ( I X ) 、下記 h ) に定義される式 ( X ) 、下記 i ) に定義される式 ( X I ) 、下記 j ) に定義される式 ( X I I ) 、下記 k ) に定義される式 ( X I I I ) 、下記 l ) に定義される式 ( X I V ) 、下記 m ) に定義される式 ( X V I ) 、下記 n ) に定義される式 ( X V I I ) 、下記 o ) に定義される式 ( X V I I I ) または下記 p ) に定義される式 ( X I X ) に相当する請求項 1 記載の生成物；

a ) 次式

**【化 3】**



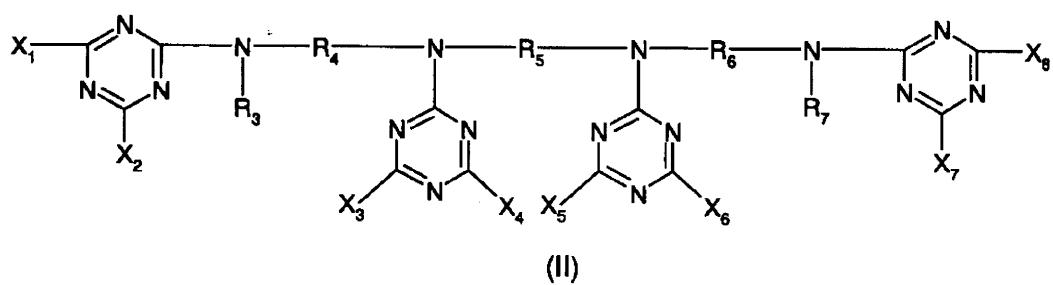
(式中、基 R<sub>1</sub> は互いに独立して水素原子、炭素原子数 1 ないし 8 のアルキル基または炭素原子数 1 ないし 2 0 のアシル基を表し、基 R<sub>1</sub> の総計の 5 ないし 8 5 % は互いに独立して水素原子または炭素原子数 1 ないし 8 のアルキル基を表し、そして残りの基 R<sub>1</sub> は炭素原子数 1 ないし 2 0 のアシル基を表す；

n<sub>1</sub> は 2 または 4 であり、n<sub>1</sub> が 2 である場合、R<sub>2</sub> は炭素原子数 1 ないし 1 4 のアルキレン基またはビス { ( 炭素原子数 1 ないし 2 0 のアルキル ) オキシカルボニル } 炭素原子数 4 ないし 1 0 のアルカンテトライル基を表し、そして

n<sub>1</sub> が 4 である場合、R<sub>2</sub> は炭素原子数 4 ないし 1 0 のアルカンテトライル基を表す。) で表される生成物の混合物；

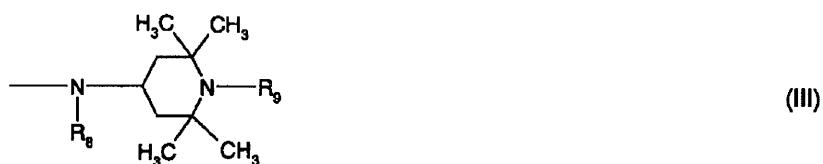
b ) 次式

**【化 4】**



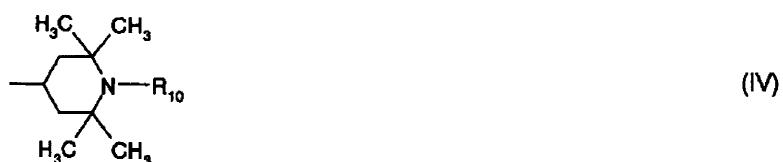
(式中、R<sub>3</sub> および R<sub>7</sub> は互いに独立して水素原子または炭素原子数 1 ないし 1 2 のアルキル基を表し、R<sub>4</sub>、R<sub>5</sub> および R<sub>6</sub> は互いに独立して炭素原子数 2 ないし 1 0 のアルキレン基を表し、そして X<sub>1</sub>、X<sub>2</sub>、X<sub>3</sub>、X<sub>4</sub>、X<sub>5</sub>、X<sub>6</sub>、X<sub>7</sub> および X<sub>8</sub> は互いに独立して次式 ( I I I )

**【化 5】**



(式中、R<sub>8</sub>は水素原子、炭素原子数1ないし12のアルキル基、炭素原子数5ないし12のシクロアルキル基、炭素原子数1ないし4のアルキル-置換炭素原子数5ないし12のシクロアルキル基、フェニル基、-OH-および/または炭素原子数1ないし10のアルキル-置換フェニル基、炭素原子数7ないし9のフェニルアルキル基、フェニル基上で-OHおよび/または炭素原子数1ないし10のアルキル基により置換された炭素原子数7ないし9のフェニルアルキル基を表すか；または次式(IV)）

【化6】



で表される基を表し、そして基R<sub>9</sub>およびR<sub>10</sub>は互いに独立して水素原子、炭素原子数1ないし8のアルキル基または炭素原子数1ないし20のアシル基を表し、基R<sub>9</sub>およびR<sub>10</sub>の総計の5ないし85%は互いに独立して水素原子または炭素原子数1ないし8のアルキル基を表し、そして残りの基R<sub>9</sub>およびR<sub>10</sub>は炭素原子数1ないし20のアシル基を表す。)で表される基を表す。)で表される生成物の混合物；

c) 次式

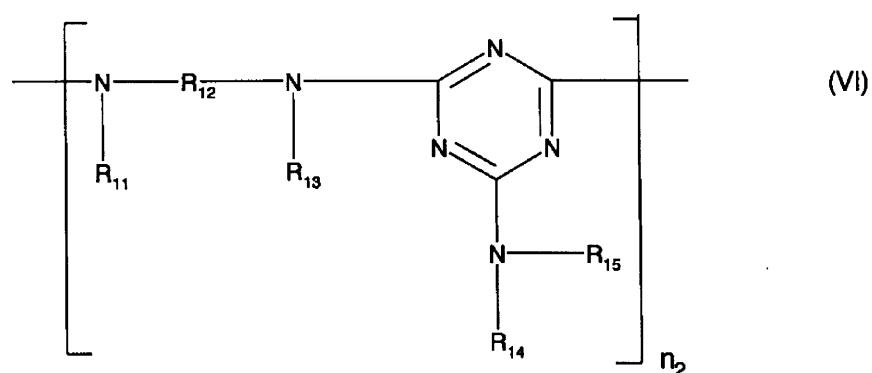
【化7】



(式中、X<sub>9</sub>、X<sub>10</sub>およびX<sub>11</sub>は互いに独立して式(III)で表される基を表し、基R<sub>9</sub>およびR<sub>10</sub>の総計の5ないし85%は互いに独立して水素原子または炭素原子数1ないし8のアルキル基を表し、そして残りの基R<sub>9</sub>およびR<sub>10</sub>は炭素原子数1ないし20のアシル基を表す。)で表される生成物の混合物；

d)

【化8】



(式中、R<sub>11</sub>、R<sub>13</sub>、R<sub>14</sub>およびR<sub>15</sub>は互いに独立して水素原子、炭素原子数1ないし12のアルキル基、炭素原子数5ないし12のシクロアルキル基、炭素原子数1ないし4のアルキル-置換炭素原子数5ないし12のシクロアルキル基、フェニル基、-OH-およ

び／または炭素原子数 1 ないし 10 のアルキル - 置換フェニル基、炭素原子数 7 ないし 9 のフェニルアルキル基、フェニル基上で - OH および／または炭素原子数 1 ないし 10 のアルキル基により置換された炭素原子数 7 ないし 9 のフェニルアルキル基を表すか；または式 (IV) で表される基を表し、

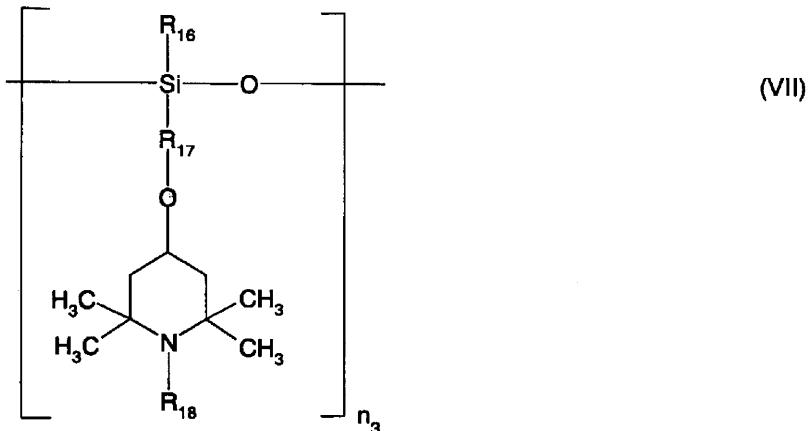
$R_{12}$  は炭素原子数 2 ないし 18 のアルキレン基、炭素原子数 5 ないし 7 のシクロアルキレン基または炭素原子数 1 ないし 4 のアルキレンジ（炭素原子数 5 ないし 7 のシクロアルキレン）基を表すか、または基  $R_{11}$ 、 $R_{12}$  および  $R_{13}$  はそれらが結合している窒素原子と一緒にになって 5 - ないし 10 - 員複素環を形成するか、または  $R_{14}$  および  $R_{15}$  はそれらが結合している窒素原子と一緒にになって 5 - ないし 10 - 員複素環を形成し、

$n_2$  は 2 ないし 50 の数であり、そして

基  $R_{11}$ 、 $R_{13}$ 、 $R_{14}$  および  $R_{15}$  の少なくとも一つは式 (IV) で表される基を表し、基  $R_{10}$  の総計の 5 ないし 85 % は互いに独立して水素原子または炭素原子数 1 ないし 8 のアルキル基を表し、そして残りの基  $R_{10}$  は炭素原子数 1 ないし 20 のアシル基を表す。）；

e )

【化 9】



（式中、 $R_{16}$  は炭素原子数 1 ないし 10 のアルキル基、炭素原子数 5 ないし 12 のシクロアルキル基、炭素原子数 1 ないし 4 のアルキル - 置換炭素原子数 5 ないし 12 のシクロアルキル基、フェニル基または炭素原子数 1 ないし 10 のアルキル - 置換フェニル基を表し、

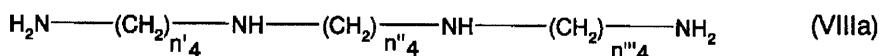
$R_{17}$  は炭素原子数 3 ないし 10 のアルキレン基を表し、

基  $R_{18}$  は互いに独立して水素原子、炭素原子数 1 ないし 8 のアルキル基または炭素原子数 1 ないし 20 のアシル基を表し、基  $R_{18}$  の 5 ないし 85 % は互いに独立して水素原子または炭素原子数 1 ないし 8 のアルキル基を表し、そして残りの基  $R_{18}$  は炭素原子数 1 ないし 20 のアシル基を表し、そして

$n_3$  は 2 ないし 50 の数である。）；

f ) 次式 (VIIIa)

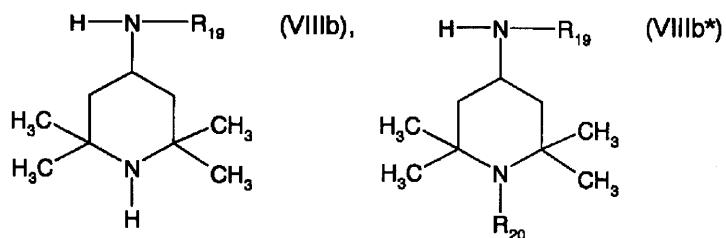
【化 10】



（式中、 $n'_4$ 、 $n''_4$  および  $n'''_4$  は互いに独立して 2 ないし 12 の整数である。

）で表されるポリアミンと塩化シアヌル間の反応により得られる化合物と、次式 (VIIIb) で表される化合物もしくは次式 (VIIIb') および (VIIIb'') で表される化合物

【化 11】



(式中、 $R_{19}$ は水素原子、炭素原子数1ないし12のアルキル基、炭素原子数5ないし12のシクロアルキル基、フェニル基または炭素原子数7ないし9のフェニルアルキル基を表し、そして $R_{20}$ は炭素原子数1ないし8のアルキル基を表す。)の混合物とを反応させて中間体を製造すること(ただし式(VIIIb)および(VIIIb\*)で表される化合物の混合物には少なくとも15%の式(VTTTb)で表される化合物が存在する。)

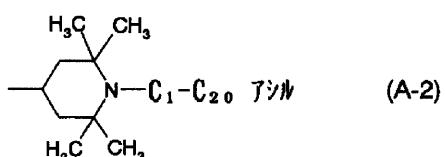
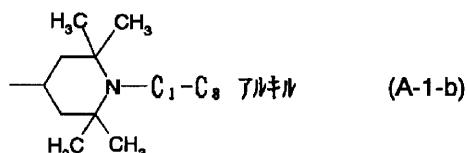
；  
そして続いて上記中間体に存在する次式（A-1-a）

【化 1.2】



で表される基がある比率でアシル化して、式 ( A - 1 - a ) 、次式 ( A - 1 - b ) および ( A - 2 )

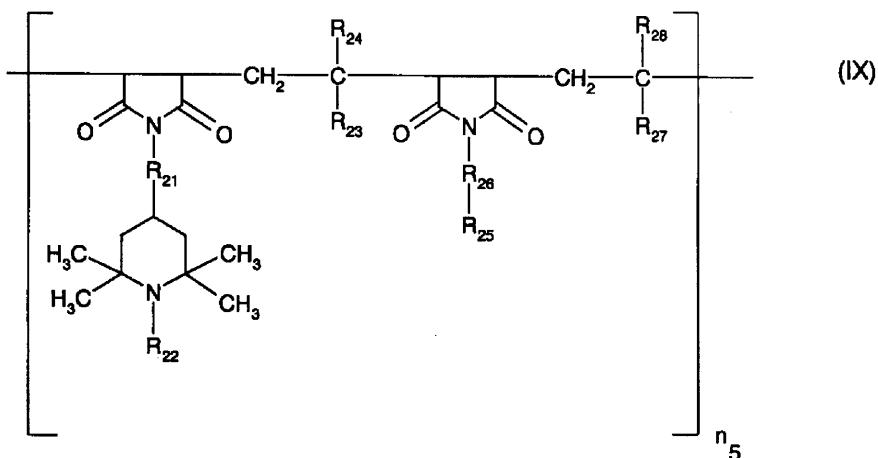
【化 1 3】



の総計に関して、式 ( A - 2 ) で表される基を 15ないし 95%、ならびに式 ( A - 1 - a ) および / または ( A - 1 - b ) で表される基を 5ないし 85% 含む生成物を得ること：により得られる生成物：

g )

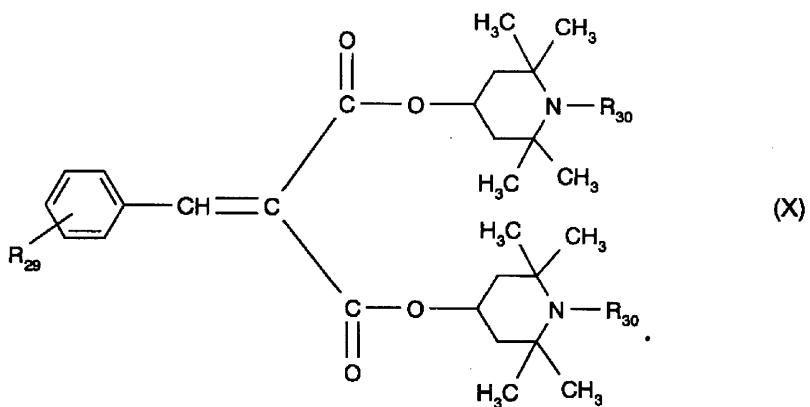
【化 1 4】



(式中、R<sub>21</sub>およびR<sub>26</sub>は互いに独立して直接結合または基-N(Y<sub>1</sub>)-CO-Y<sub>2</sub>-CO-N(Y<sub>3</sub>)-を表し、Y<sub>1</sub>およびY<sub>3</sub>は互いに独立して水素原子、炭素原子数1ないし8のアルキル基、炭素原子数5ないし12のシクロアルキル基、フェニル基、炭素原子数7ないし9のフェニルアルキル基または式(IV)で表される基を表し、Y<sub>2</sub>は直接結合または炭素原子数1ないし4のアルキレン基を表し、基R<sub>22</sub>は互いに独立して水素原子、炭素原子数1ないし8のアルキル基または炭素原子数1ないし20のアシル基を表し、R<sub>23</sub>、R<sub>24</sub>、R<sub>27</sub>およびR<sub>28</sub>は互いに独立して水素原子、炭素原子数1ないし30のアルキル基、炭素原子数5ないし12のシクロアルキル基またはフェニル基を表し、R<sub>25</sub>は水素原子、炭素原子数1ないし30のアルキル基、炭素原子数5ないし12のシクロアルキル基、フェニル基、炭素原子数7ないし9のフェニルアルキル基または式(IV)で表される基を表し、基R<sub>10</sub>およびR<sub>22</sub>の総計の5ないし85%は互いに独立して水素原子または炭素原子数1ないし8のアルキル基を表し、そして残りの基R<sub>10</sub>およびR<sub>22</sub>は炭素原子数1ないし20のアシル基を表し、n<sub>5</sub>は2ないし50の数である。)；

h) 次式

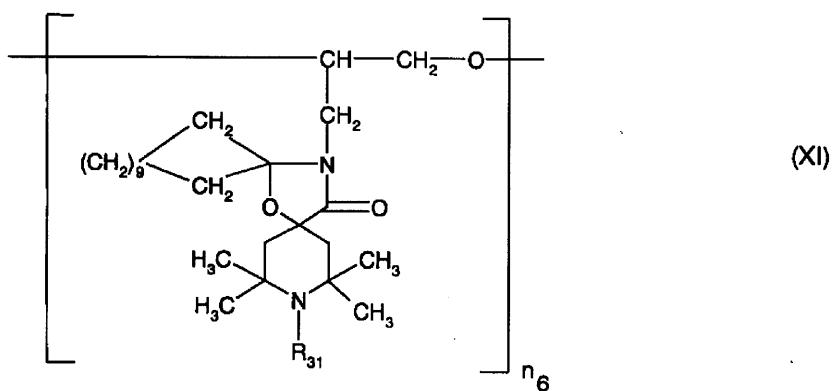
【化15】



(式中、R<sub>29</sub>は水素原子、炭素原子数1ないし12のアルキル基または炭素原子数1ないし12のアルコキシ基を表し、そして基R<sub>30</sub>は互いに独立して水素原子、炭素原子数1ないし8のアルキル基または炭素原子数1ないし20のアシル基を表し、基R<sub>30</sub>の総計の5ないし85%は互いに独立して水素原子または炭素原子数1ないし8のアルキル基を表し、そして残りの基R<sub>30</sub>は炭素原子数1ないし20のアシル基を表す。)で表される生成物の混合物；

i)

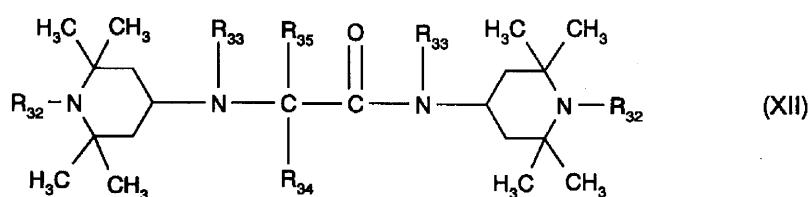
【化16】



(式中、基R<sub>31</sub>は互いに独立して水素原子、炭素原子数1ないし8のアルキル基または炭素原子数1ないし20のアシル基を表し、基R<sub>31</sub>の5ないし85%は互いに独立して水素原子または炭素原子数1ないし8のアルキル基を表し、そして残りの基R<sub>31</sub>は炭素原子数1ないし20のアシル基を表し、n<sub>6</sub>は2ないし50の数である。)；

j) 次式

【化17】

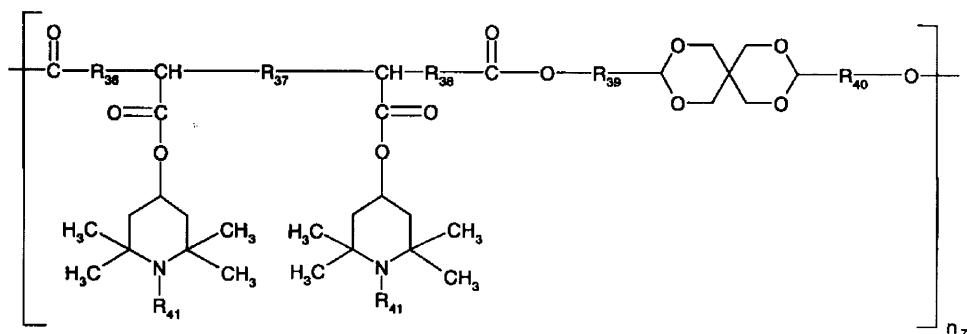


(式中、基R<sub>32</sub>は互いに独立して水素原子、炭素原子数1ないし8のアルキル基または炭素原子数1ないし20のアシル基を表し、基R<sub>32</sub>の総計の5ないし85%は互いに独立して水素原子または炭素原子数1ないし8のアルキル基を表し、そして残りの基R<sub>32</sub>は炭素原子数1ないし20のアシル基を表し、

基R<sub>33</sub>は互いに独立して水素原子、炭素原子数1ないし12のアルキル基または炭素原子数1ないし12のアシル基を表し、そして基R<sub>34</sub>およびR<sub>35</sub>は互いに独立して炭素原子数1ないし12のアルキル基を表す。)で表される生成物の混合物；

k)

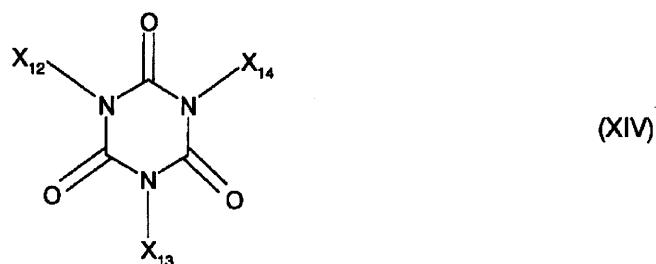
【化18】



(式中、R<sub>36</sub>、R<sub>37</sub>、R<sub>38</sub>、R<sub>39</sub>およびR<sub>40</sub>は互いに独立して直接結合または炭素原子数1ないし10のアルキレン基を表し、基R<sub>41</sub>は互いに独立して水素原子、炭素原子数1ないし8のアルキル基または炭素原子数1ないし20のアシル基を表し、基R<sub>41</sub>の5ないし85%は互いに独立して水素原子または炭素原子数1ないし8のアルキル基を表し、そして残りの基R<sub>41</sub>は炭素原子数1ないし20のアシル基を表し、そしてn<sub>7</sub>は1ないし50の数である。)；

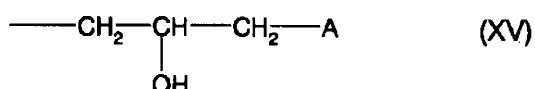
l) 次式

## 【化19】



[式中、 $X_{12}$ 、 $X_{13}$ および $X_{14}$ は互いに独立して次式(XV)]

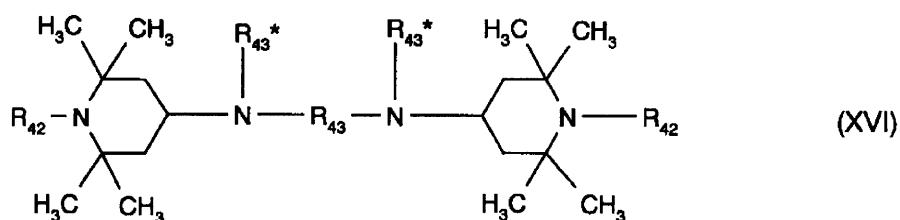
## 【化20】



(式中、Aは式(I II I)で表される基を表し、基 $R_9$ および $R_{10}$ の総計の5ないし85%は互いに独立して水素原子または炭素原子数1ないし8のアルキル基を表し、そして残りの基 $R_9$ および $R_{10}$ は炭素原子数1ないし20のアシル基を表す。)で表される基を表す。)で表される生成物の混合物；

m) 次式

## 【化21】



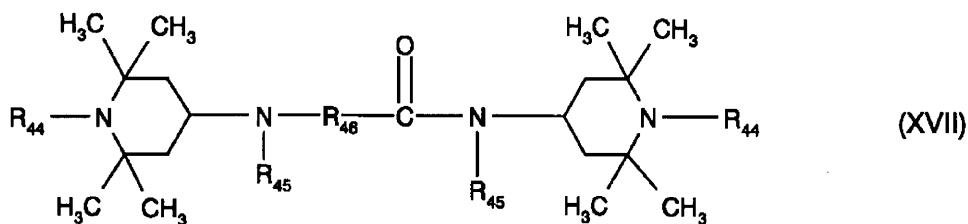
(式中、基 $R_{42}$ は互いに独立して水素原子、炭素原子数1ないし8のアルキル基または炭素原子数1ないし20のアシル基を表し、基 $R_{42}$ の総計の5ないし85%は互いに独立して水素原子または炭素原子数1ないし8のアルキル基を表し、そして残りの基 $R_{42}$ は炭素原子数1ないし20のアシル基を表し、

基 $R_{43}^*$ は互いに独立して炭素原子数1ないし20のアシル基、(炭素原子数1ないし8のアルコキシ)カルボニル基、(炭素原子数5ないし12のシクロアルコキシ)カルボニル基、(炭素原子数1ないし8のアルキル)アミノカルボニル基、(炭素原子数5ないし12のシクロアルキル)アミノカルボニル基、(炭素原子数7ないし9のフェニルアルキル)アミノカルボニル基、炭素原子数1ないし8のアルキル基；未置換または炭素原子数1ないし4のアルキル基の1、2もしくは3個により置換された炭素原子数5ないし12のシクロアルキル基；炭素原子数3ないし6のアルケニル基；未置換またはフェニル基上に炭素原子数1ないし4のアルキル基の1、2もしくは3個により置換された炭素原子数7ないし9のフェニルアルキル基；または $-CH_2-CN$ を表し、そして

$R_{43}$ は炭素原子数2ないし22のアルキレン基、炭素原子数5ないし7のシクロアルキレン基、炭素原子数1ないし4のアルキレンジ(炭素原子数5ないし7のシクロアルキレン)基、フェニレン基またはフェニレンジ(炭素原子数1ないし4のアルキレン)基を表す。)で表される生成物の混合物；

n) 次式

## 【化22】

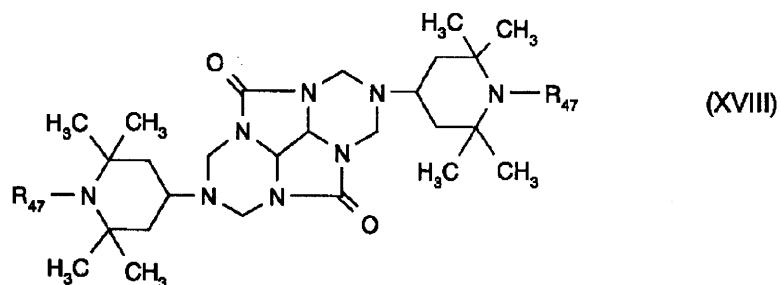


(式中、基 R<sub>44</sub> は互いに独立して水素原子、炭素原子数 1 ないし 8 のアルキル基または炭素原子数 1 ないし 20 のアシル基を表し、基 R<sub>44</sub> の総計の 5 ないし 85 % は互いに独立して水素原子または炭素原子数 1 ないし 8 のアルキル基を表し、そして残りの基 R<sub>44</sub> は炭素原子数 1 ないし 20 のアシル基を表し、

基 R<sub>45</sub> は互いに独立して水素原子、炭素原子数 1 ないし 12 のアルキル基または炭素原子数 1 ないし 12 のアシル基を表し、そして基 R<sub>46</sub> は炭素原子数 1 ないし 10 のアルキレン基を表す。) で表される生成物の混合物；

○ 次式

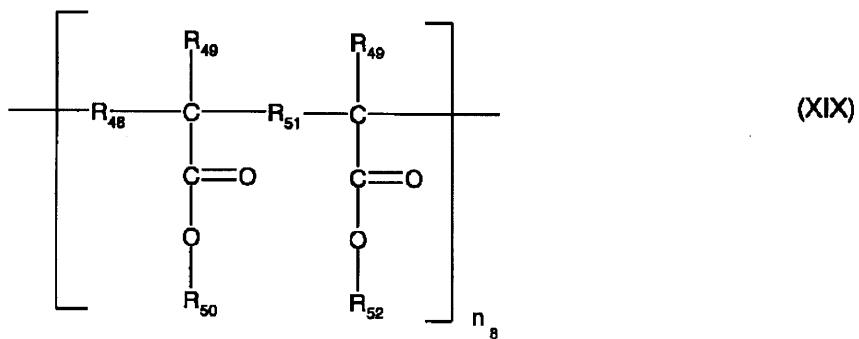
【化 2 3】



(式中、基 R<sub>47</sub> は互いに独立して水素原子、炭素原子数 1 ないし 8 のアルキル基または炭素原子数 1 ないし 20 のアシル基を表し、基 R<sub>47</sub> の総計の 5 ないし 85 % は互いに独立して水素原子または炭素原子数 1 ないし 8 のアルキル基を表し、そして残りの基 R<sub>47</sub> は炭素原子数 1 ないし 20 のアシル基を表す。) で表される生成物の混合物；あるいは

p )

【化 2 4】

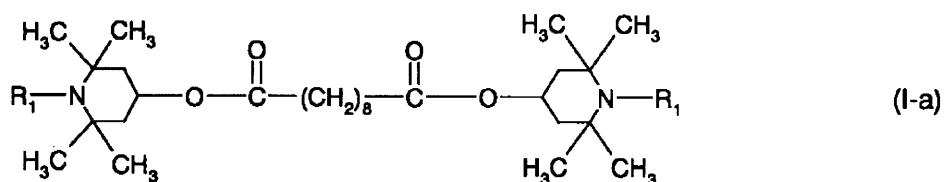


(式中、R<sub>48</sub> および R<sub>51</sub> は互いに独立して炭素原子数 1 ないし 10 のアルキレン基を表し、基 R<sub>49</sub> は互いに独立して水素原子または炭素原子数 1 ないし 10 のアルキル基を表し、R<sub>50</sub> は炭素原子数 1 ないし 10 のアルキル基を表し、R<sub>52</sub> は炭素原子数 1 ないし 10 のアルキル基または式 (IV) で表される基を表し、そして n<sub>8</sub> は 3 ないし 50 の数であるが、ただし基 R<sub>52</sub> の少なくとも 50 % が式 (IV) で表される基を表し、基 R<sub>10</sub> の 5 ないし 85 % は互いに独立して水素原子または炭素原子数 1 ないし 8 のアルキル基を表し、そして残りの基 R<sub>10</sub> は炭素原子数 1 ないし 20 のアシル基を表す。)。

【請求項 3】

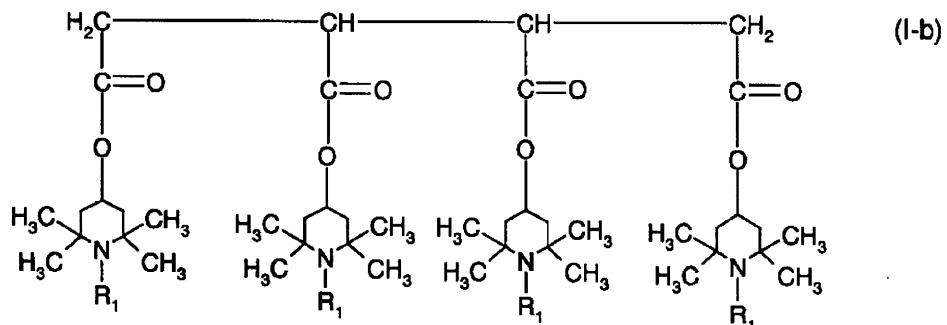
a ) 次式

【化 2 5】



(式中、基 R<sub>1</sub>の総計の 5ないし 85 %は水素原子またはメチル基を表し、そして残りの基 R<sub>1</sub>は炭素原子数 1ないし 10 のアシル基を表す。)で表される生成物の混合物；次式

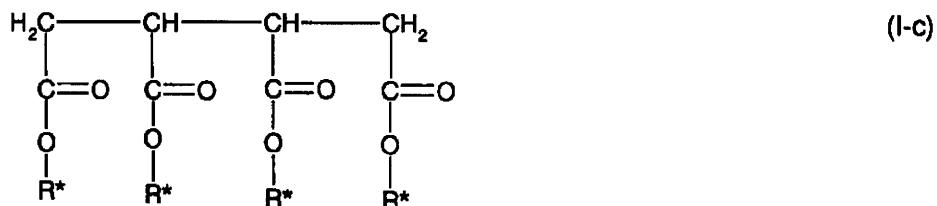
【化 2 6】



(式中、基 R<sub>1</sub>の総計の 5ないし 85 %は水素原子またはメチル基を表し、そして残りの基 R<sub>1</sub>は炭素原子数 1ないし 10 のアシル基を表す。)で表される生成物の混合物；または

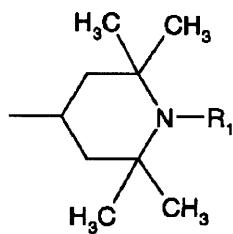
次式

【化 2 7】



(式中、2 個の基 R<sup>\*</sup>は -COOOC<sub>13</sub>H<sub>27</sub>- を表し、そして 2 個の基 R<sup>\*</sup>は次式

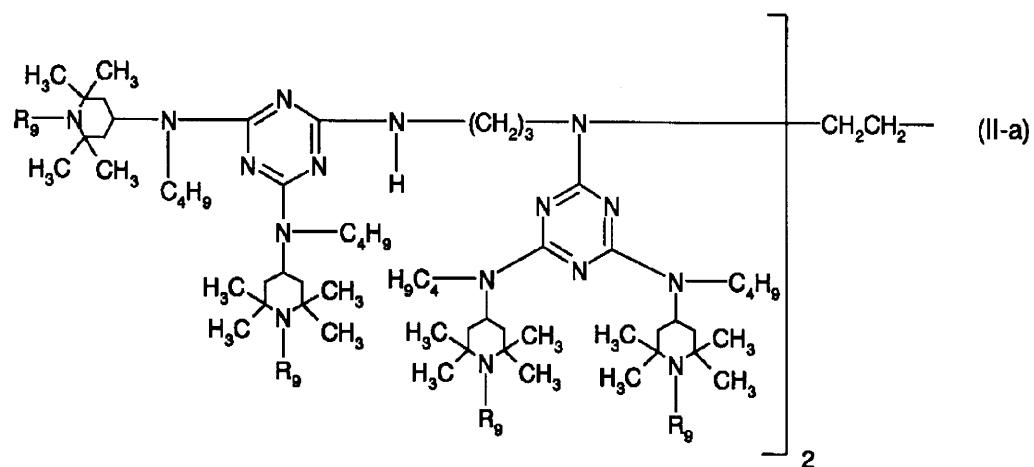
【化 2 8】



で表される基を表し、基 R<sub>1</sub>の総計の 5ないし 85 %は水素原子またはメチル基を表し、そして残りの基 R<sub>1</sub>は炭素原子数 1ないし 10 のアシル基を表す。)で表される生成物の混合物；

b ) 次式 ( II - a )

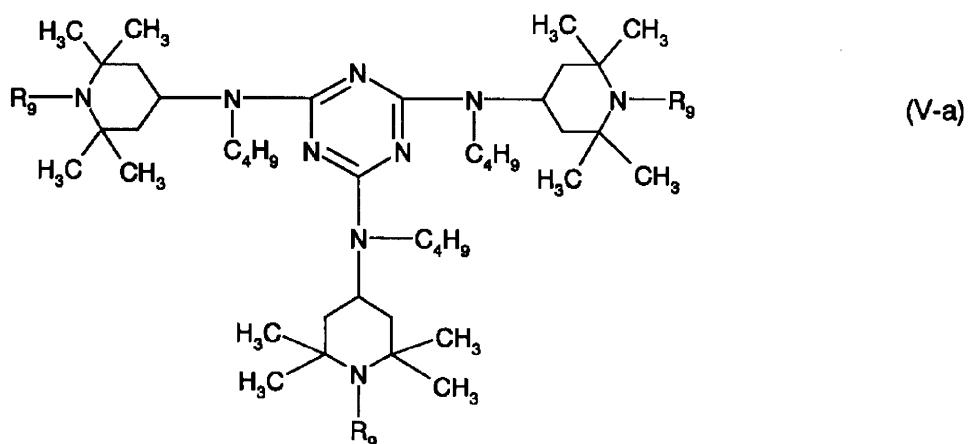
【化 2 9】



(式中、基 R<sub>9</sub>の総計の 5ないし 85 %は水素原子またはメチル基を表し、そして残りの基 R<sub>9</sub>は炭素原子数 1ないし 10 のアシル基を表す。)で表される生成物の混合物；

c ) 次式 (V - a )

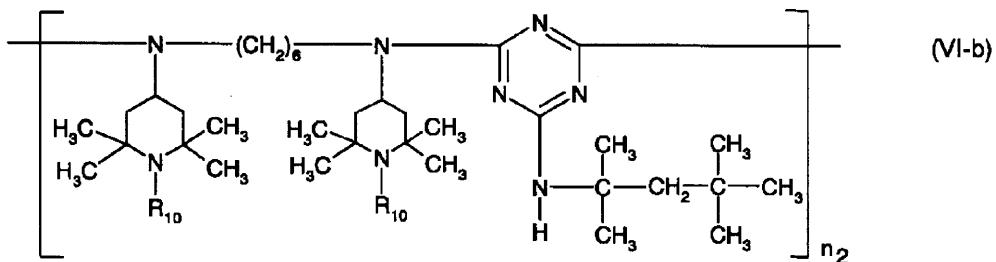
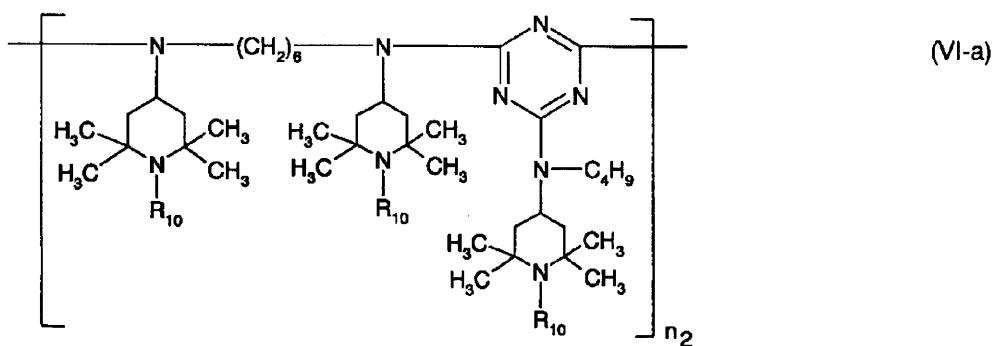
【化 3 0】



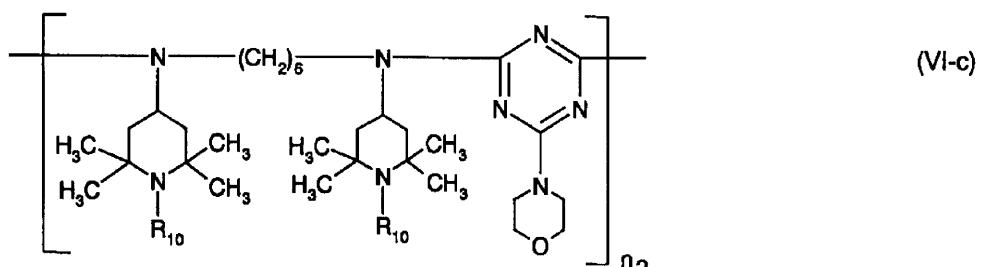
(基 R<sub>9</sub>の総計の 5ないし 85 %は水素原子またはメチル基を表し、そして残りの基 R<sub>9</sub>は炭素原子数 1ないし 10 のアシル基を表す。)で表される生成物の混合物；

d ) 次式 (V I - a )、(V I - b )、(V I - c )、(V I - d )または(V I - e )

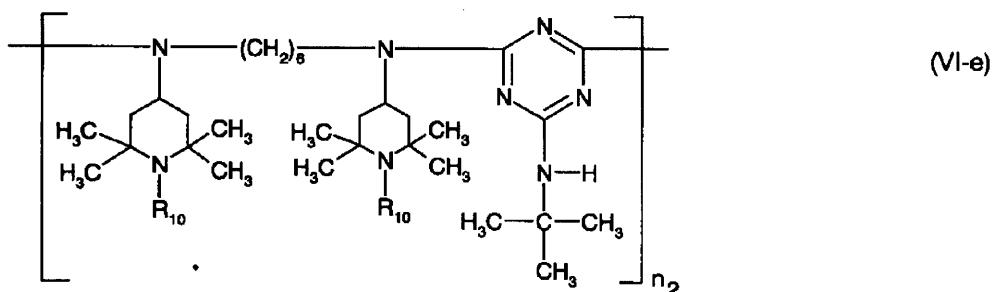
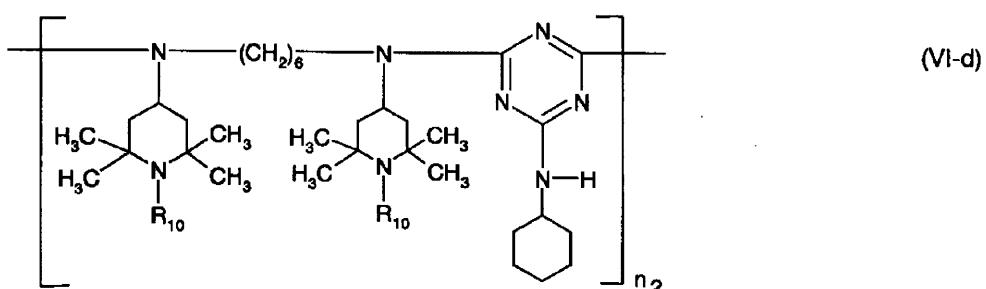
【化 3 1】



【化32】



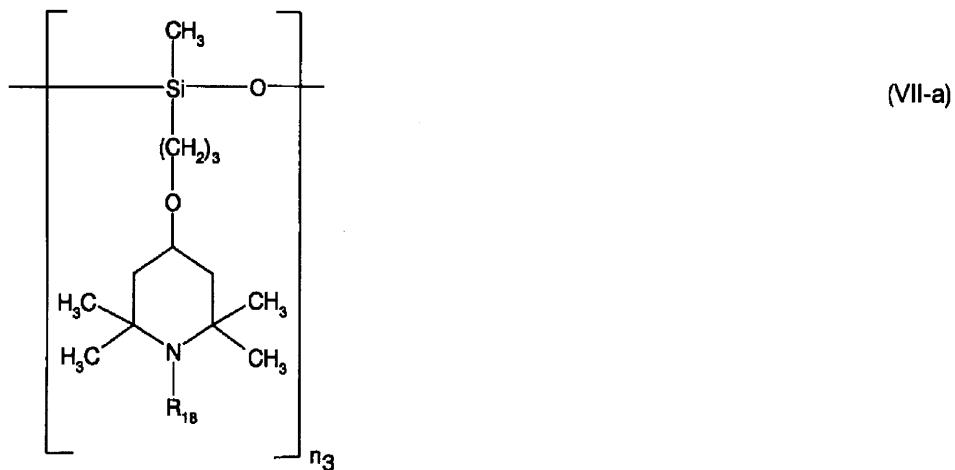
【化33】



(基 R<sub>10</sub> の総計の 5ないし 8 5 % は互いに独立して水素原子またはメチル基を表し、そして残りの基 R<sub>10</sub> は炭素原子数 1ないし 10 のアシル基を表す。) ;

e ) 次式 (VII-a)

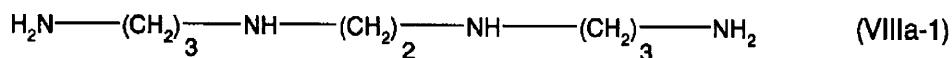
【化34】



(基 R<sub>18</sub> の総計の 5 ないし 8 5 % は互いに独立して水素原子またはメチル基を表し、そして残りの基 R<sub>18</sub> は炭素原子数 1 ないし 10 のアシル基を表す。) ;

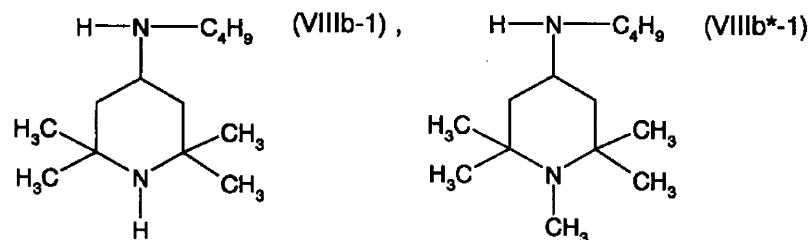
f ) 次式 (VIIIa-1)

【化 3 5】



で表されるポリアミンと塩化シアヌル間の反応により得られる化合物と、次式 (VIIIb-1) で表される化合物もしくは次式 (VIIIb\*-1) および (VIIIb\*-1) で表される化合物

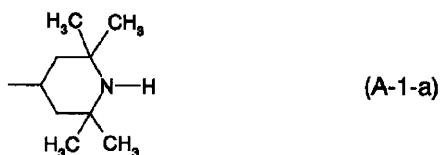
【化 3 6】



の混合物とを反応させて中間体を製造すること（ただし式 (VIIIb-1) および (VIIIb\*-1) で表される化合物の混合物には少なくとも 15 % の式 (VIIIb-1) で表される化合物が存在する。）；

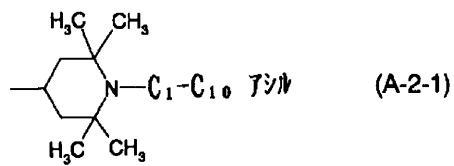
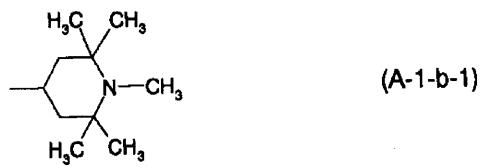
そして続いて上記中間体に存在する次式 (A-1-a)

【化 3 7】



で表される基をある比率でアシル化して、式 (A-1-a)、次式 (A-1-b-1) および (A-2-1)

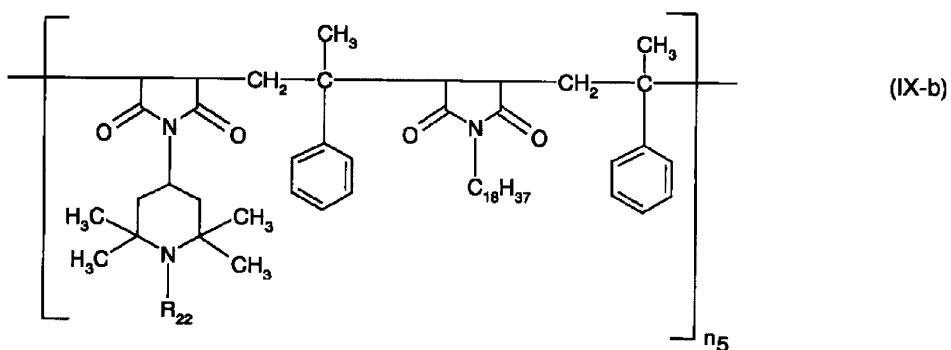
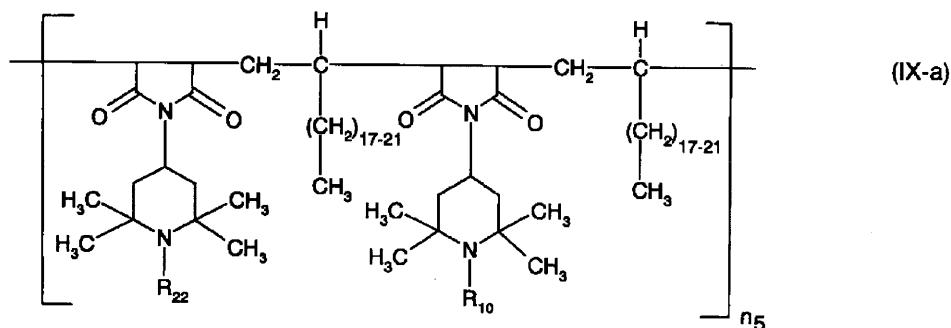
【化 3 8】



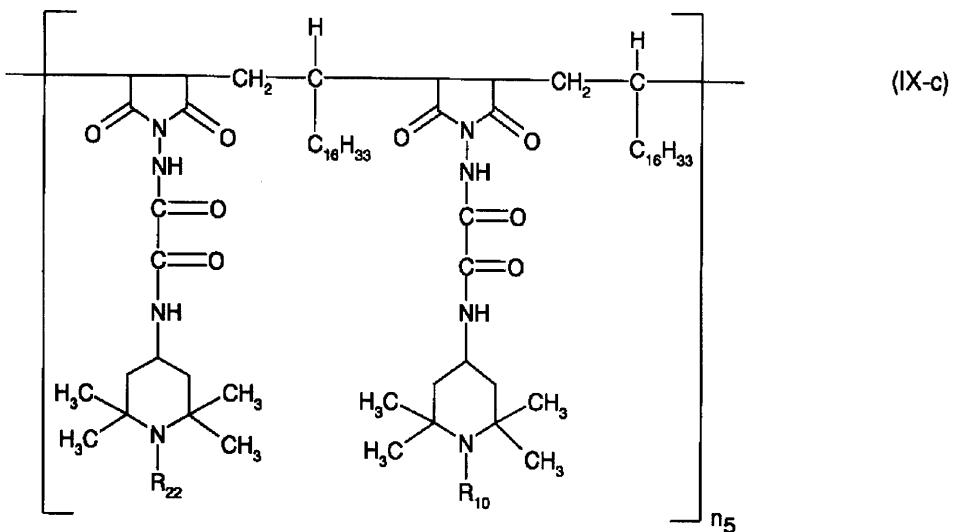
の総計に関して、式 (A - 2 - 1) で表される基を 15ないし 95%、ならびに式 (A - 1 - a) および / または (A - 1 - b - 1) で表される基を 5ないし 85% 含む生成物を得ること；により得られる生成物；

g ) 次式 (IX - a)、(IX - b) または (IX - c)

【化 3 9】



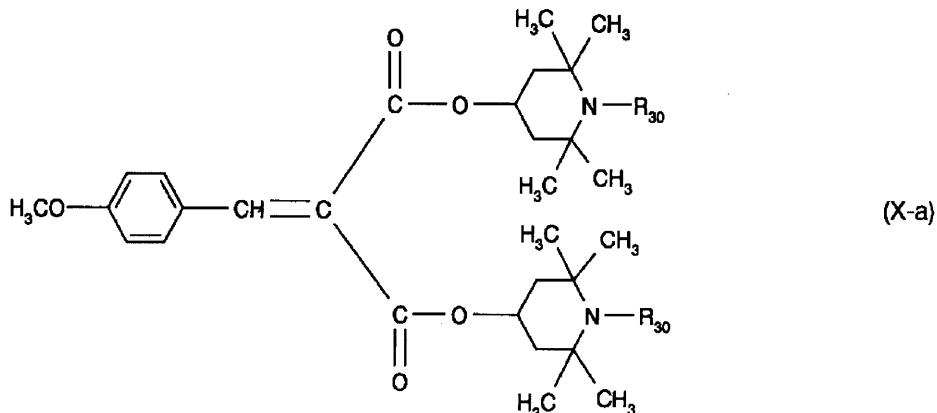
【化 4 0】



(式中、基 R<sub>10</sub> および R<sub>22</sub> の 5ないし 85% は互いに独立して水素原子またはメチル基を表し、そして残りの基 R<sub>10</sub> および R<sub>22</sub> は炭素原子数 1ないし 10 のアシル基を表す。) ;

h) 次式 (X-a)

【化 4 1】

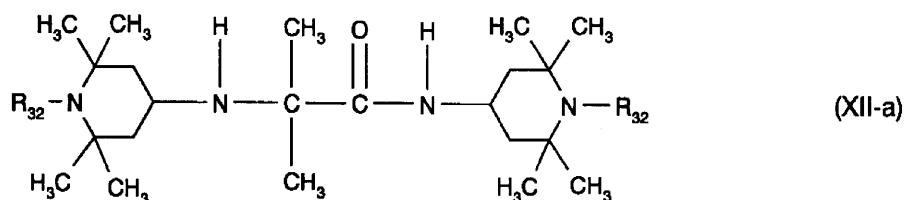


(式中、基 R<sub>30</sub> の総計の 5ないし 85% は水素原子またはメチル基を表し、そして残りの基 R<sub>30</sub> は炭素原子数 1ないし 10 のアシル基を表す。) で表される生成物の混合物；

i) 式 (X I) (式中、基 R<sub>31</sub> の総計の 5ないし 85% は互いに独立して水素原子またはメチル基を表し、そして残りの基 R<sub>31</sub> は炭素原子数 1ないし 10 のアシル基を表す。) ;

j) 次式 (X I I - a)

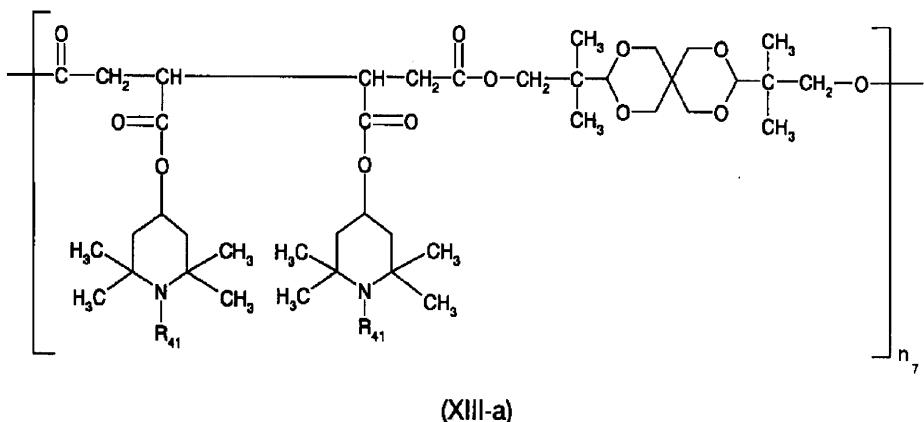
【化 4 2】



(式中、基 R<sub>32</sub> の総計の 5ないし 85% は水素原子またはメチル基を表し、そして残りの基 R<sub>32</sub> は炭素原子数 1ないし 10 のアシル基を表す。) で表される生成物の混合物；

k) 次式 (X I I I - a)

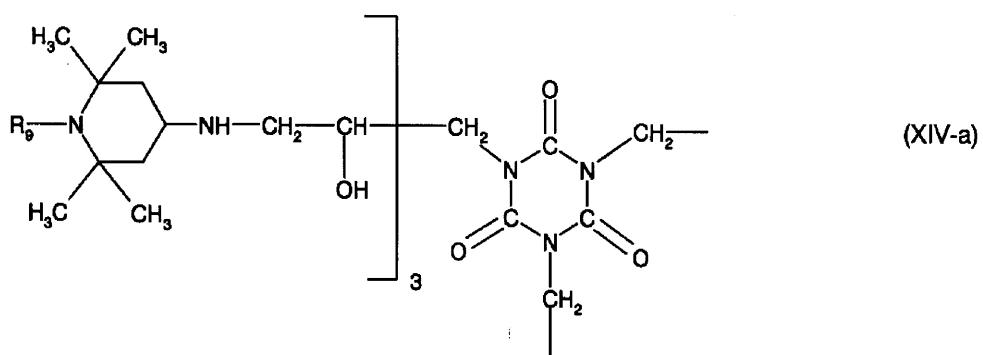
【化 4 3】



(式中、基 R<sub>41</sub> の総計の 5ないし 85% は互いに独立して水素原子またはメチル基を表し、そして残りの基 R<sub>41</sub> は炭素原子数 1ないし 10 のアシル基を表す。) ;

l) 次式 (X I V - a)

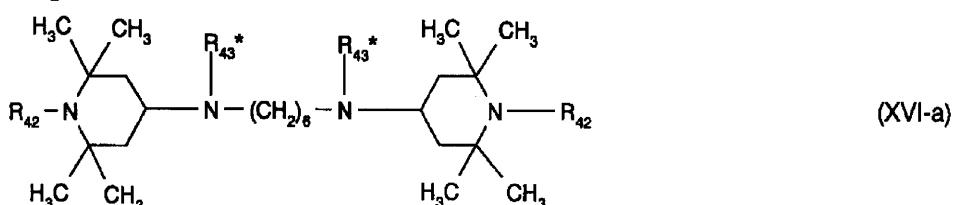
【化 4 4】



(式中、基R<sub>9</sub>の総計の5ないし85%は水素原子またはメチル基を表し、そして残りの基R<sub>9</sub>は炭素原子数1ないし10のアシル基を表す。)で表される生成物の混合物；

m) 次式(XVII-a)

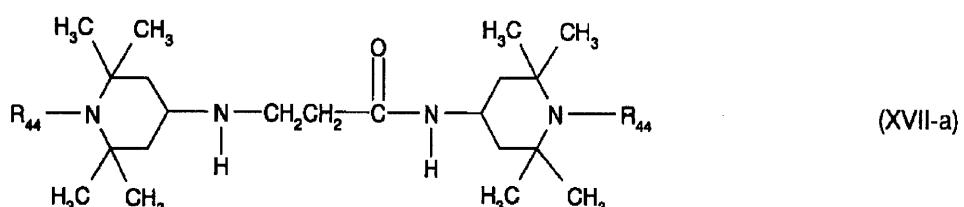
【化45】



(式中、基R<sub>42</sub>の総計の5ないし85%は水素原子またはメチル基を表し、そして残りの基R<sub>42</sub>は炭素原子数1ないし10のアシル基を表し；そして基R<sub>43</sub>\*は炭素原子数1ないし10のアシル基を表す。)で表される生成物の混合物；

n) 次式(XVIII-a)

【化46】

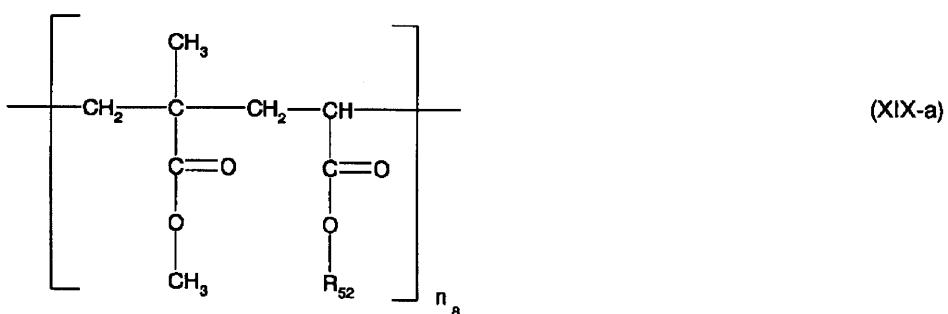


(式中、基R<sub>44</sub>の総計の5ないし85%は水素原子またはメチル基を表し、そして残りの基R<sub>44</sub>は炭素原子数1ないし10のアシル基を表す。)で表される生成物の混合物；

o) 式(XVIII-a) (式中、基R<sub>47</sub>の総計の5ないし85%は水素原子またはメチル基を表し、そして残りの基R<sub>47</sub>は炭素原子数1ないし10のアシル基を表す。)で表される生成物の混合物；あるいは

p) 次式(XIX-a)

【化47】



(式中、基R<sub>52</sub>は互いに独立してエチル基または式(IV)で表される基を表すが、ただし(1)基R<sub>52</sub>の少なくとも50%が式(IV) (式中、R<sub>10</sub>は水素原子、メチル基または炭素原子数1ないし10のアシル基を表す。)で表される基を表し、残りのR<sub>52</sub>はエチ

ル基を表し、そして(2)基R<sub>10</sub>の総計の5ないし85%は水素原子またはメチル基を表し、そして残りの基R<sub>10</sub>は炭素原子数1ないし10のアシル基を表す。)；に相当する請求項1記載の生成物。

【請求項4】

光、熱または酸化により誘導される分解を受けやすい有機材料および請求項1記載の生成物を含む組成物。

【請求項5】

上記有機材料がポリカーボネートまたはポリカーボネート／グラフトコポリマーブレンドであり、かつ付加的に顔料を含む請求項4記載の組成物。

【請求項6】

上記有機材料がポリカーボネートまたはポリカーボネート／グラフトコポリマーブレンドであり、かつ付加的に紫外線吸収剤を含む請求項4記載の組成物。